

第14回臨時大会に結集しよう

日刊 動労千葉

1988.4.26
No.2804

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

四月二十九日、動労千葉は第十四回臨時大会を開催し、全面的な動労千葉組織破壊攻撃と対決する反撃のストライキ体制確立に向けた方針を打ち出す。

当局の悪質極まる暗黒の労務政策に、そして、権力の手先、当局の下僕となり、労働者の首を次々に差し出してきた革マル鉄道労連に、煮えたぎる怒りをたたきつける時がきた。

奴隷会社JRの

労務支配を打ち破れ！

「分割・民営化」から早一年、職場では奴隷となる事だけが要求され、労働者は機械のごとく取り扱われ、極限までにいきつこうと血をしぼりながらごたく強行される合理化の嵐、強制配転、不当処分、そして数限りない組合破壊工作と、まさに「JR」は暗黒の奴隷会社である。

戦線は拡大された！

この一年間、われわれは歯をくいしばり、不屈の労働者魂を貫き、反撃の時を待っていた。だがもうガマンならない。堪忍袋の緒は切れた。遂に動労千葉七五〇名が、まなじりをけっしてたたかいに立ちあがる時が来た。われわれの底力を、恐ろしさを当局は承知しているであろう。いまや、わが仲間たちは、駅に、売店に、そして何よりも運転職場に圧倒的多数派として存在し、様々なたたかいの場へと配置された。あらゆる戦術でたたかいの炎を燃えあがらそう。四・二九臨時大会に総結集し、不拔のストライキ方針を確立しよう！原職実力奪還、清算事業団、不当解雇された仲間達を必ずや奪いかえそう！たたかいの時が来た。

第14回動労千葉4が29に
臨時大会10じ
ストライキで反撃を！
労働者福祉センター

いざストライキへ！

中間の道はない！

われわれのストライキ方針は、労働者の生きる権利を獲得し、仲間を守りたたいである。また同時にそれは革マル鉄道労連解体のたたかいである。当局のメチャクチャな攻撃は革マルと結託したものであり、処分、配転も革マル松崎が当局になきつき、一体となり攻撃しているのはまぎれもない事実である。鉄道労連を労働組合などと思ってはならない。全労働者階級の敵である。革マル松崎は国鉄労働者の敵である。革マル松崎は国鉄労働者のスト決起をなによりも恐れている。裏切りの数々が満天下にさらされ「ストのないJR」など一気に吹き飛ばされてしまおう！

またこのたたかいは日帝の軍事大国化と真っ向から対決するものとなる。侵略戦争を許してしまふのか？自民党政権打倒の道か。今、それが問われている。

三里塚軍事空港の二期着工、歯止めなき軍事費の増大、更には「分割・民営化」を始めとした労働運動絶滅の攻撃と日帝は、侵略戦争へまっしぐらにつき進んでいる。

三里塚と国鉄労働運動の勝利なくして労働者の未来は切り拓かれない。われわれは、分離・独立八一・三ジェット闘争、「分割・民営化」に抗して唯一決起した二波のストライキと、数々の歴史に残るたたかいに勝利した。

今、また歴史に残る正義のたたかいに決起する時が訪れたのだ。
万全のストライキ体制をかちとるために、四月二十九日、第十四回臨時大会に総結集しよう！

高級紳士・婦人服
一流ブランド特別セール
4/29と30 10じと17じ
市価の30%~
60%OFF!!
労働者福祉センター